

## 地域の教育力を生かした夏休み中の学習支援「寺子屋」

- 夏休み後半の8月20～22日の3日間、地域交流室を会場に地域協議会委員や学習ボランティアの協力を得て、児童の夏休みの宿題支援などを行う「寺子屋」が実施されました。
- 寺子屋の取組は、家庭・地域教育部会を中心に実施しており、今年で3年目を迎えます。今回の参加者は1年生から6年生までの22名。各自、ワークや絵の課題をこなしたり、地域の名人から書道を教わったりしました。夏休み中に実施することで、休み明けの不登校防止にも繋がる効果的な取組となっています。
- 参加した子どもたちは、地域の大人に見守られながら、学校の授業とは異なる雰囲気の中で学習を進めるとともに、地域の大人とのコミュニケーションを楽しんでいました。
- そのほか、独自の取組として恒例の親学ワークショップ「フラッグアート」があります。例年、テーマを決めて子どもと大人が協力して大きなアート作品を仕上げます。来年の7月には、オリオン通りに飾られ、宇都宮の街なかに華を添える予定です。



地域交流室壁面の掲示物



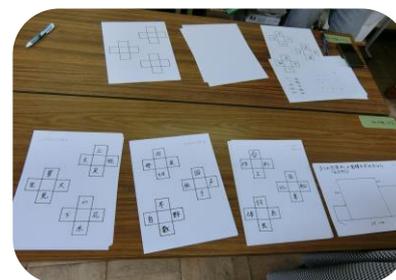
芸術的なフラッグアート作品



優しくアドバイス



落ち着いた雰囲気です自主学習



協議会委員自作のプリント類

### 【学校の声】

ボランティアに支えられ、子どもたちの活動が豊かになり、表情はますます彩を帯びて…。

本校の魅力協は学校だけでは気づかないような、まさに斜めの角度からの視点で学校を支えてくださっています。少しでも子どもたちの役に立てるなら、まさに時間を惜しまず、労を惜しまず。この豊かな人材が宝木小学校のタカラです。

### 【地域協議会の声】

どんな活動にも苦労はつきものですが、子どもたちのキラッとした瞳を見ると…「企画して良かった」と心から思えます。

今の子どもたちは、お年寄りといふれあう機会が少ないので、協議会として、地域の老人会などに積極的に働きかけを行い、協力者やボランティアの確保に努めてきました。今後も様々な活動を提供していきたいです。

### 【いいね！】

寺子屋やフラッグアートの取組は、地域への定着が進んできおり、児童だけでなく、保護者からも好評を得ている好事例である。

地域交流室の壁面には、協議会活動の様子がわかる新聞や地域ボランティア活動カレンダー等が掲示されており、日頃から児童や保護者、来校者への効果的な周知が図られている。

